Codex CLI チートシート

始め方・頼み方・コマンド

1 起動・再開

codex	→ 対話画面を起動
codex '依頼'	→ 依頼付きで起動
codex resume	→ 過去の会話を選択
codex resume --last	→ 直近の会話を再開
codex -C フォルダー	→ 作業場所を指定

まず対象プロジェクトのフォルダーで起動します。

2 最初の流れ

1. 状況を説明	→ 目的と症状
2. 調査を依頼	→ まだ変更しない
3. 計画を確認	→ 範囲と方法
4. 実装を依頼	→ 変更を実行
5. テストを確認	→ 結果と残課題

大きな作業は調査・計画・実装に分けます。

3 良い頼み方の型

目的	→ 完成させたい状態
対象	→ ファイル・機能
条件	→ 技術・禁止事項
確認	→ テストや見た目
報告	→ 変更点と注意点

不明点は実装前に質問して、と付け加えます。

4 調査用の依頼

「構成を説明して」	→ 全体を把握
「原因だけ調べて」	→ 変更せず診断
「根拠を示して」	→ 判断材料を確認

5 主なスラッシュ操作

/help	→ 利用できる操作
/status	→ 設定・使用状況
/plan	→ 計画モード切替
/review	→ コードをレビュー
/diff	→ 変更差分を表示

利用できる項目は版により異なります。/ で確認。

6 設定・接続

/model	→ モデルを選択
/reasoning	→ 推論の深さ
/permissions	→ 権限と範囲
/mcp	→ MCPツール一覧
/plugins	→ プラグイン確認

設定変更後は /status で現在の状態を確認します。

7 CLIの便利な指定

codex --search	→ 最新情報を検索
codex --image 画像	→ 画像を渡す
codex --add-dir 場所	→ 別フォルダー追加
codex exec '依頼'	→ 非対話で実行

画像・別フォルダーは必要なものだけ渡します。

8 会話の整理

codex fork	→ 会話を分岐
/side	→ 一時的な別相談
/compact	→ 会話を短く整理
/clear	→ 新しい会話へ

基本の順番

調査 → 計画 → 承認 → 実装 → テスト → 差分確認。

削除・公開・送信・課金を伴う操作は、実行直前に確認。

Codex CLI チートシート

レビュー・権限・実践用プロンプト

1 変更をレビュー

/diff	→ 変更箇所を見る
/review	→ 作業ツリーを点検
codex review --uncommitted	→ 未保存変更をレビュー
codex review --base main	→ mainとの差をレビュー

重要な修正はテスト結果と差分を両方確認します。

2 権限とサンドボックス

read-only	→ 読み取り中心
workspace-write	→ 作業場所へ書込み
danger-full-access	→ 広いアクセス
on-request	→ 必要時に承認

初心者は作業場所限定と承認ありの設定が安心です。

3 AGENTS.md

/init	→ ひな型を作成
作業手順	→ ビルド・テスト方法
決まり	→ 書式・禁止事項
確認基準	→ 完了条件を記載

プロジェクトに残る、Codex向けの説明書です。

4 拡張機能

Skills	→ 繰り返す手順
Plugins	→ 機能をまとめて追加
MCP	→ 外部ツールと接続
Subagents	→ 調査などを分担

追加機能には必要最小限の権限だけを与えます。

5 バグ修正の依頼例

再現手順を確認して	→ 症状を固定
原因候補を挙げて	→ 根拠付きで分析
まだ変更しないで	→ 調査だけ
最小修正を提案して	→ 影響を限定
テストして報告して	→ 結果を確認

6 新規作成の依頼例

要件を先に整理	→ 不足を質問
計画で一度止めて	→ 実装前に承認
小さく作って	→ 複雑さを抑制
段階ごとにテスト	→ 故障箇所を特定
起動方法も説明	→ 利用手順を残す

7 Gitでの安全確認

git status	→ 変更ファイル
git diff	→ 変更内容
git log --oneline	→ 最近の履歴
コミット前に確認	→ 不要変更を除外

コミット・pushは、頼んだ時だけ行うよう指定できます。

8 完了時の確認

目的を満たした？	→ 要件と照合
テストは通った？	→ 失敗も確認
不要変更はない？	→ 差分を確認
戻し方はある？	→ Git・バックアップ

『残った問題も報告して』と頼むと見落としを減らせます。

安全の合言葉

--yolo や sandbox無効化は、隔離環境以外では使わない。
秘密情報を貼らず、知らない命令・接続・外部送信を許可しない。